



発行所
Aomori Apple Association
公益財団法人青森県りんご協会
〒036-8093 弘前市城東中央3-9
TEL 0172-27-6006
FAX 0172-27-6008
http://www.aapple.jp/
購読料 1 か月 1,050 円
(但し会費に含む)

果樹の病害防除に
チオソック
フロアブル
大内新興

新春剪定大会50年の節目に1300人集う 会場を新たに3年間の初回スタート 津軽は鶴田町で初開催



集まった全員で景気づけの頑張ろう三唱(鶴田町会場)

今年から津軽・県南両地区に開催した。津軽地区では区ともに会場と講師陣を新はじめて鶴田町での開催といたし、大会前日と当日には地元の鶴田町支会連のメンバーが70名が集まり万全の体制で迎える。なか、地元開催を喜ぶ西北五地域の生産者が集まる中、三戸町の竹原義人町長が駆け付け激励の挨拶を行った。



地元の講師の説明に参加者も真剣な眼差し(泉山会場)

本会主催の新春恒例行事である「新春剪定大会」が津軽地区では7日に鶴田町廻堰、県南地区は8日に三戸町泉山でそれぞれ開催された。今年の大会は1966年(昭和41年)に第1回を開催してから50年目、更に本会創立70周年の記念すべき年の最初の行事と云うこともあり、各剪定会場には多くの生産者が集まった。

今年から津軽・県南両地区に開催した。津軽地区では区ともに会場と講師陣を新はじめて鶴田町での開催といたし、大会前日と当日には地元の鶴田町支会連のメンバーが70名が集まり万全の体制で迎える。なか、地元開催を喜ぶ西北五地域の生産者が集まる中、三戸町の竹原義人町長が駆け付け激励の挨拶を行った。

大会に先立ち本会富士会長の年頭の挨拶に始まり、鶴田町の相川正光町長とAつがるにきたの三上純一組合長が歓迎の挨拶をしたあと、本会の木村篤志青年部長の掛け声で参加者全員景気づけの頑張ろう三唱を行った。

一方、県南会場である三戸町泉山の園地においては凡そ300人の生産者が集まる中、三戸町の竹原義人町長が駆け付け激励の挨拶を行った。あつと剪定大会の開催となった。



斎藤昌美顕彰会 ふじ準原木の剪定会を開催

斎藤昌美顕彰会(会長 葛西一三氏)は9日、弘前市りんご公園内にある「ふじ」の準原木の剪定会を行った。剪定講師を務めた同会会長の斎藤鉄頭氏(弘前市一野渡)は集まった凡そ40名を前に、ふじの剪定要点について説明していた。

花ばさみ

▼日本の最低賃金が都道府県平均で時給780円、先進国の中で最低だそう。元岩手県知事の増田寛也氏は、著書で日本の最低賃金を時給1000円以上に上げるべきだと主張している。それでもやっぱりいい企業は淘汰されるべきと。県内のりんご園の雇用労賃は1日5000〜6000円、時給700円前後で、最近、雇用労働力の確保が難しいと聞く。

▼昨年、10月にアメリカワシントン州のりんご栽培状況を見る機会を得た。20年ほど前に訪ねたときは、収穫時の賃金は品種ごとに州政府が決める。ふじで1ビン(350g)箱)当たり28USドル(3300円)、早い人では4ビン収穫するそう。青森県のりんご栽培はどうか。今の1・5倍の労賃ではやっていけないのか、はたまたインペリションが起るのか。

▼また、日本は14の国、地域とワーキングホリデー制度を締結し、日本にやってくる若者は年間1万人いるそうである。ニュージランドのように彼らをアルバイトとしてりんご園で雇用する仕組みを作ってもいいのかもしれない。

Coregeo Japan LLC
今 智之

時給千円

今回の調査は本会が県の委託を受けて、先月18〜22日にかけて県内38地点54樹(津軽:33地点46樹、県南5地点8樹)の枝齢5年程度の枝を南北各2本採り、取って調査したもので、これを目安のひとつとして、それぞれ園地で剪定する際、花芽の状況をしっかり確認しながら行って欲しい。

今年の花芽

適正量確保も弱小芽多い

りんご果樹課は5日、平成28年度りんご(ふじ)の花芽着生状況調査結果を発表。これによると、本年のふじの花芽分化率は56・7%と平年の62・8%をやや下回ったものの、適正の範囲内とした。ただし、横径3mm以下の弱小芽の割合は42・3%と平年の14・8%を大きく上回る結果となった。

海外短信

▼米国ワシントン州中央部に広がる青々としたりんご園は、目をみはる景観である。しかし、これらのりんご園は赤・青・乳白色のネットに被覆され、その景観は劇的に変わるかも知れない。欧州では、害害対策としてりんご園にネットを被覆しており、ワシントン州でも1600畝で実施している。

▼米国北西地方は強い日射が長く続くことから、日焼けが大きな問題になっている。日焼け防止には、スプリングラーの樹上水散布による冷却を行っている。その作業は煩雑である。ワシントン州立大学の研究者グループは、赤、青、乳白色のネットをりんご園に被覆し、日焼け防止にポリプロピレンである。ネット被覆のコストは栽培様式などで異なるが、10畝当たり2250〜3000ドルである。ネットの材質保持のため、冬期間は巻き取るというコストがかかる。

(Good Fruit Grower 11月号)

黒石市北美町 一木 茂

主張

お正月は雪片 町、県南地区が三戸町に会場や剪定講師を新たに開催した新春剪定大会には、前年。当時は戦時中による肥料・薬剤などの物資不足など多くを学ぶために沢山の生産者が参集した。同大会は昭和41年から始まり、今年で丁度半世紀。50年という歴史の積み重ねがある。ただ、気が掛かるのが、本年の花芽着生状況である。最大の特徵であるのが、弱小芽率が平年の2・8倍になっている。積み重ねと言えはりんごの産地、教育、協同を行動綱領として、りんご産業発展のため活動が続いている。

創設者の瀬川博次郎氏曰く、りんご作りは仲間作り。単にりんごだけ生産して、役員は勿論だが、会員個々が信念と自信をもって、剪定講習会や各種会合など機会ある度に、自らの仲間である会員の増強に積極的に努めてもらいたい。

今までの歴史や伝統、栽培技術の伝承を一人でも多くの方々に伝え、積み重ね続けることがりんご産業の維持発展に繋がると信じている。

▼米国ワシントン州中央部に広がる青々としたりんご園は、目をみはる景観である。しかし、これらのりんご園は赤・青・乳白色のネットに被覆され、その景観は劇的に変わるかも知れない。欧州では、害害対策としてりんご園にネットを被覆しており、ワシントン州でも1600畝で実施している。

▼米国北西地方は強い日射が長く続くことから、日焼けが大きな問題になっている。日焼け防止には、スプリングラーの樹上水散布による冷却を行っている。その作業は煩雑である。ワシントン州立大学の研究者グループは、赤、青、乳白色のネットをりんご園に被覆し、日焼け防止にポリプロピレンである。ネット被覆のコストは栽培様式などで異なるが、10畝当たり2250〜3000ドルである。ネットの材質保持のため、冬期間は巻き取るというコストがかかる。

(Good Fruit Grower 11月号)

黒石市北美町 一木 茂

着色ネットの日焼け防止

自信を深めている。赤、青、乳白色のネットは日光の透過を22%減少させる。諸外国の研究によると、赤色は着色を増進させ、青色は栄養成長を抑え、乳白色は日光の分散を促すことが明らかにされている。

平成27年度 りんご学校のお知らせ

新規就農者・一般生産者向け講座 第6講

- ▼期 日:平成28年2月12日(金)
- ▼集合場所:りんご協会 2階会議室
- ▼受付:午前9:00〜9:20まで
- ▼内容:【午前9:30〜11:30】
 - 講義「剪定のあれこれ」 講師:本会 奈良正史技師
 - 現地「自然災害に強い樹体作り」 講師:平川市唐竹支会 内山国仁氏
- ▼参加費:会員3000円 非会員4000円 新規就農者及び女性生産者1500円 (資料、交通費、弁当代含む)
- ▼申込締切日:平成28年2月4日(木)まで
- ▼申込先:TEL 0172-27-6006 FAX 0172-27-6008

りんご品評会入賞成績

昨年度は春先からの天候に恵まれ、生育も順調に進んだ中、収穫直前に2度の強風によって落果及びスリ傷果が多く発生したものの、収穫されたものについては食味、着色は良好であった。その中で、例年同様に各支会よりりんご品評会が行われ、多くの逸品が出品されていた。そこで今回は、その結果をまとめたので掲載する。（順不同、敬称略）

中弘地区

▼小沢支会

▽最優秀賞 山形 淳 ▽優秀賞 井澤 憲一、白濱 不二男 ▽金賞 山形 拓也、今 朋幸 ▽銀賞 白濱 公樹、古山 基、白濱 不二男、石山 重美、石山 優、山形 弘晃、今 直雅 ▽銅賞 石岡 柁喜、井澤 文明、石岡 拓志、石山 修、白濱 鉄也、下山 一明、山形 勝亮、石岡 忠治、山形 昭憲、古山 勉、下山 剛、山形 拓也、山形 正人
（出品52点、入賞25点）

▼悪戸支会

▽優秀賞 栗嶋 裕季 ▽金賞 栗嶋 裕季、時苗 浩明 ▽銀賞 時苗 浩明、小山内 孝志 ▽銅賞 時苗 浩明、石岡 照久
（出品16点、入賞7点）

▼下湯口支会

▽金賞 齋藤 学、石岡 秀行 ▽銀賞 竹村 拓己、石岡 勇 ▽銅賞 齋藤 達也、石岡 満明
（出品19点、入賞6点）

▼一野渡支会

▽優秀賞 齋藤 和昭 ▽金賞 山下 正嗣 ▽銀賞 齋藤 昌一、山下 花道 ▽銅賞 齋藤 恵司、山下 善弘、齋藤 匡一
（出品20点、入賞7点）

▼清水中央支会

▽最優秀賞 三上 正仁 ▽金賞 吉崎 敏彦、原田 具昭 ▽銀賞 外崎 日出城、川村 将喜 ▽銅賞 三上 孝、森山 泰一 ▽最高糖度賞 外崎 日出城

（出品22点、入賞8点）

▼乳井支会

▽優秀賞 對馬 一 ▽金賞 成田 浩 恵 ▽銀賞 成田 英謙
（出品9点、入賞3点）

▼薬師堂支会

▽優秀賞 花田 喜久男、小笠原 聡 ▽金賞 吹田 和人、木村 家寿夫 ▽銀賞 小笠原 悟、白取 輝夫
（出品19点、入賞6点）

英弘 ▽金賞 高谷 斉、高谷 節夫 ▽銀賞 小山内 広、福沢 康弘、戸田 功、前田 朋也 ▽銅賞 小山内 義美、小山内 清悦、高谷 正弘、前田 正行、太田 光弘、前田 晴恒、前田 卓文、高谷 幸博、對馬 伸一、對馬 博喜
「玉林・金星の部」
▽優秀賞 高谷 斉 ▽準優秀賞 前田 和男 ▽金賞 小山内 広、太田 光弘 ▽銀賞 高谷 陽一、高谷 英治、高谷 誠吾、高谷 幹雄 ▽銅賞 小山内 啓晃、小山内 清悦、小山内 満、三上 剛、福沢 康弘、竹内 芳彦、高谷 幸博、對馬 博喜
（出品68点、入賞34点）

橋 正弘、高橋 貴志、高橋 孝樹、山崎 好明
（出品21点、入賞10点）

▼泉田支会

▽最優秀賞 千葉 強 ▽金賞 小山内 豊、泉田 寿富 ▽銀賞 千葉 みどり、千葉 慎司、葛西 優 ▽銅賞 千葉 栄一、山崎 義明、泉田 正道、泉田 勉、千葉 久雄
（出品27点、入賞11点）

▼新岡支会

「ふじ・玉林の部」
▽優秀賞 佐藤 裕介 ▽金賞 佐藤 裕真 ▽銀賞 佐藤 修司 ▽銅賞 田中 幸樹
「葉とらずふじの部」
▽優秀賞 佐藤 修司
（出品17点、入賞5点）

▼五代支会

▽優秀賞 白取 英樹 ▽金賞 竹谷 亮 ▽銀賞 木村 芳文 ▽銅賞 山本 悠介、木村 芳文
（出品24点、入賞5点）

▼馬子橋支会

▽金賞 村上 稔 ▽銀賞 花田 勝 ▽銅賞 村上 静
（出品9点、入賞3点）

▼葛原支会

▽金賞 田村 晃市郎 ▽銀賞 田村 龍孝 ▽銅賞 對馬 浩二
（出品9点、入賞3点）

▼五所支会

▽金賞 三浦 義光 ▽銀賞 山内 和之、三上 英治 ▽銅賞 成田 守、山内 芳宏 ▽努力賞 山内 勝治
（出品13点、入賞6点）

▼紙漉沢支会

▽優秀賞 清野 英勝 ▽金賞 成田 正俊 ▽銀賞 成田 祐介

▽銅賞 成田 要、成田 馨
（出品22点、入賞5点）

▼東目屋支会連

▽金賞 三上 雄大②、吉谷 誠、西沢 陸奥人、吉谷 新一 ▽銀賞 伴 優幸②、吉谷 悟、佐々木 亨、米沢 正智 ▽銅賞 繁田 悦男②、夏目 華向、佐々木 潤、伴 優幸、中村 正喜②、吉谷 悟、吉谷 信夫②
（出品70点、入賞20点）

▼弘前西地区

▽金賞 外崎 俊司、河越 一之、本田 孝治②、鈴木 伸忠 ▽銀賞 鈴木 伸忠、葛西 猛、工藤 弘喜、古川 静輝、葛西 康史 ▽銅賞 小山内 智則、水島 亨、小山内 勝彦、佐々木 昌光、川村 寛樹
「大玉コンテスト」
三上 晃良（北斗）、小山内 秀男（ナフサイト）、小山内 智則（世界）、相馬 俊道（ふじ）、赤石 力（玉林）
（出品30点、入賞20点）

各支会・青年部など 県内50ヶ所で開催

▼時苗支会

▽優秀賞 時苗 雅也 ▽準優秀賞 時苗 貴子 ▽金賞 長尾 洋一、時苗 弘文 ▽銀賞 笹 大樹、小嶋 勇成、工藤 千賀、時苗 健司
（出品15点、入賞8点）

▼鶴田支会

▽優秀賞 久保田 晴亮 ▽金賞 川村 正人 ▽銀賞 前田 智之、佐々木 堅太郎 ▽銅賞 高屋 和巳、佐々木 堅太郎、川村 正人
（出品11点、入賞7点）

▼中別所支会

「ふじの部」
▽優秀賞 竹内 芳彦 ▽準優秀賞 前田

▼前坂支会

▽優秀賞 石郷岡 鉄宏 ▽金賞 三浦 勝美 ▽銀賞 工藤 実、佐々木 昌光 ▽銅賞 工藤 弘喜、工藤 実
（出品9点、入賞6点）

▼下高杉支会

▽優秀賞 鈴木 伸忠 ▽金賞 本田 孝治 ▽銀賞 川村 寛樹 ▽銅賞 葛西 猛
（出品8点、入賞4点）

▼檜の木支会

▽優秀賞 高橋 哲史 ▽金賞 角田 隆政、高橋 勇 ▽銀賞 高橋 文雄、山崎 好明、山崎 英治 ▽銅賞 高

▼如來瀬支会

▽金賞 玉田 弘美 ▽銀賞 田沢



慎重に審査する職員

平成27年度 各支会開催



逸品を審査する

津軽南・東青地区

▼ゴールド農園
「葉とらふじ」の部
▽金賞 桑田 力▽銀賞 桑田 力、岩崎 貴宏▽銅賞 田澤 正忠、石岡 壮一郎、中嶋 篤志▽りんご

協会会長賞 桑田 力▽りんご協会特別賞 成田 秀一▽ゴールド農園社長賞 斎藤 英文▽ゴールド農園りんごの会会長賞 葛西 正義
(出品38点、入賞10点)

佐藤 博久、内山 瑛裕▽銀賞 谷口 秀樹、佐藤 博久、猪股 政孝、相馬 順哉▽銅賞 内山 国仁、相馬 順哉②、佐藤 博久、相馬 浩次②、谷口 秀樹、原田 忠久
(出品64点、入賞16点)

▼石名坂支会
▽金賞 佐藤 久直②、佐藤 弘記②▽銀賞 斎藤 明彦②、佐藤 有正、倉内 信一、加藤 裕久、佐藤 秀之▽銅賞 木村 篤志、木村 功②、木村 信夫②、佐藤 幸春②、木村 滋、倉内 信一、佐藤 宗男
(出品43点、入賞20点)

二三、佐々木 孝雄、佐々木 福栄▽銅賞 佐々木 孝雄、佐々木 鋼生、佐々木 春彦②、船水 廣▽努力賞 山中 寛幸、佐々木 慎、船水 廣、浅利 忠男、成田 志郎
(出品28点、入賞18点)

▼大根子支会
▽優賞 工藤 雅博▽金賞 菊地 司▽銀賞 菊地 司、工藤 雅博
(出品17点、入賞4点)

▼向陽支会

▽金賞 赤平 勝▽銀賞 成田 厚子、成田 光市▽銅賞 赤平 達昭、赤平 源逸▽努力賞 赤平 雄宏、赤平 一夫、赤平 良一
(出品28点、入賞8点)

▼沖館支会

▽優賞 田中 祐一▽金賞 中田 伸、中田 哲之▽銀賞 田中 敏夫、田中 雅之、岩淵 正之、今井 昇、田中 勝徳▽銅賞 田中 安信、久我 実、三浦 良孝、三浦 城志郎、三浦 藤市、三浦 藤男、田中 祐二
(出品30点、入賞15点)

満中田 義明▽銅賞 斎藤 俊正、小野 洋貴▽努力賞 山口 秀幸、小野 清幸
(出品23点、入賞7点)

▼町居支会
▽金賞 柳引 公康▽銀賞 葛西 理人、山口 康也▽銅賞 葛西 努②、今井 信仁
(出品25点、入賞6点)

▼飯田支会
▽金賞 葛西 利至▽銀賞 高杉 久明▽銅賞 佐藤 勝栄、佐藤 憲康▽もう1歩賞 葛西 昭博、葛西 育雄
(出品13点、入賞6点)

▼野中支会
▽優賞 松山 好貴▽金賞 三上 理知▽銀賞 今 正利、今 征明▽銅賞 今 正利、今 隆永、今 征明▽努力賞 福田 大、鳴瀬 秀徳、三上 文男、杉沢 靖弘、松山 弘憲
(出品23点、入賞12点)

▼尾崎支会

▽優賞 工藤 一之▽金賞 八木橋 静宏、中嶋 正▽銀賞 中嶋 勝美、長内 勉▽銅賞 三浦 浩一、八木 義浩▽銅賞 佐々木 博光▽努力

▼花巻支会
▽金賞 工藤 昭仁▽銀賞 佐々木 義浩▽銅賞 佐々木 博光▽努力

▼丸博支会
▽優賞 植野 純司▽金賞 斎藤 寿▽銀賞 斎藤 幸寿▽銅賞 吹田 修、青山 貴一郎▽努力賞 植

▼門前支会
▽優賞 馬場 誠▽金賞 佐々木 豊彦、沖田 勝裕▽銀賞 佐々木 秀行、沖田 貴之▽銅賞 貝守 広、馬場 誠
(出品16点、入賞7点)

▼館内支会
▽第1席 山田 敏美▽第2席 越後 一雄▽第3席 畑中 茂喜
(出品17点、入賞3点)

強風にも負けず 逸品が並んだ

逸品が並んだ

▼新館支会
▽金賞 小野 貴▽銀賞 山口

峰之▽第6席 中嶋 義仁▽第7席 外川 文夫▽銀賞 長尾 博人、中嶋 義仁、小笠原 諭、外川 順春

▼金屋支会
▽優賞 駒井 貞蔵▽金賞 駒井 隆則▽銀賞 駒井 雅彦、森内 裕貴▽銅賞 佐藤 佳克、森内 和子、森内 健一
(出品21点、入賞7点)

▼元長峰支会
▽金賞 山田 敏彦▽銀賞 工藤 勉▽銅賞 山田 直博
(出品10点、入賞3点)

▼八幡館支会
▽金賞 阿保 萬成、三浦 睦夫、土岐 昭一、對馬 紘一▽銀賞 三浦 睦夫、對馬 紘一、三浦 夕起子▽銅賞 對馬 照子、阿保 庸子、土岐 昭一
(出品19点、入賞10点)

▼森山支会
▽優賞 山中 寛幸▽金賞 佐々木 一二三、佐々木 慎▽銀賞 小田桐 勉、佐々木 鋼生、佐々木 一

賞 工藤 昭則
(出品13点、入賞4点)

北五・西地区

県南地区

青森県りんごわい化栽培技術研究会 詰め、流し剪定技術公開と 検討会の参加者募集!

▼日時 平成28年1月18日(月) 午後2時～4時30分
▼場所 りんご研究所園場 黒石市大字牡丹平字福民24
▼内容 ①詰め剪定・流し剪定実技 午後2時～3時30分
講師・櫻庭郁夫氏、津川昭寛氏、相馬 豊氏、大平一仁氏
②検討会 午後3時40分～4時30分
講師・剪定講師陣及びりんご研究所栽培部
※一般生産者…1000円(資料代含む)

▼申込方法 申し込み締め切りは1月15日(金) 厳守。参加希望者は本会わい化事務局まで申し込んで下さい。TEL 0172-27-6006

今旬の作業

(1月15日～24日)

▼概況

- ① 本会恒例の新春剪定大会は7日に鶴田町廻壇、翌8日には三戸県立山で開催され、3年間の初年度となる本年は昨年を上回る総勢1300人が集まり盛況に行われました。
- ② 昨年末から小雪で推移しています。気象台の12月積雪深は29センチ、昨年17.8センチと比べて16%になりました。
- ③ 年明け後も降雪は少なく、山手では例年より剪定作業がかなり進んでいます。

▼弱小芽が多い傾向

- ① 花芽分化率はほぼ例年並みとなっていますが、弱小芽が多い傾向にあります。
- ② 昨年、着果量が多く夏場の干ばつの影響を受けた樹では花芽の質が良くないようです。樹体の花芽を確保

認しながら、丁寧な剪定に心掛けましょう。

▼高品質安定生産へ向けて

- ① 整枝剪定の大原則は良品生産、隔年結果防止、樹体維持です。
- ② りんご樹は生物です。樹により状態が違ふことを理解するためにも、花芽や枝の伸びをよく観察しながら作業を行いましょう。
- ③ 安定生産には結果枝の確保が重要です。自然災害の被害軽減も考慮して成り枝を残す剪定を心掛けましょう。

▼切口保護を早めに

剪定した切口にはできるだけその日のうちにバッチレートを塗りましょう。

▼本年も「今旬の作業」で

良品生産に繋がります

新春剪定大会講師陣に聞く

1年目のポイント

今月7、8日に行われた新春剪定大会は、今年から開催場所と剪定講師を新たに開催した。そこで今回から2回にわたり、津軽地区と県南地区において剪定講師を務められた9名の方に1年目の剪定のポイントと3年後の目標について伺った。第1弾は、津軽地区の丸葉の講師を務められた4名を紹介する。

【丸葉台樹】

■鶴田町瀬良沢支会

成田 文一氏 (65歳)



▼既存の枝を活かしつつ

成田さんは今回剪定を行うことになった樹を見た印象として、主枝や亜主枝として使われている太い枝の多くが共枝となっており、それに加えてそれらの枝の同じ箇所や高さから出ているものが目に付いたという。そこで、3年間かけて



沢山の生産者に説明する成田さん

既存の主枝や亜主枝を利用しながら整理していき、発出部位の高さにも変化をつけることで、雪等による折損被害が出にくいような樹形にしていける。更に、成り枝を多く着けて少しでも多くのりんごを成らせるようにしたいと話した。

1年目のポイントとして主枝や亜主枝の太さに対して、樹勢が強く太い側枝を剪去して、結果母枝には果台枝あがりの枝を多く着けるように意識したいという。

今年ポイントとしては樹勢が全体的に強めであると感じたことから、落ち着かせるためにも極力りんごを成らせるように枝を配置

■鶴田町間山支会

出町 潤逸氏 (57歳)



▼まずは樹を

しっかり観察する



見ている生産者に説明する出町さん

出町さんは、樹の印象として、それぞれの部位毎に枝の伸び具合や素質をしっかりと観察した際に樹勢が強いと感じたと話す。3年後の目標としては、樹全体の伸びを見ながら空間を最大限に利用した樹形となるように剪定し、今より収量を落とすことなく毎年少しでも増えるよう意識していきたい。

今年ポイントとしては樹勢が全体的に強めであると感じたことから、落ち着かせるためにも極力りんごを成らせるように枝を配置

今年ポイントとしては樹勢が全体的に強めであると感じたことから、落ち着かせるためにも極力りんごを成らせるように枝を配置

▼減収させないこと

成田さんは剪定する樹と向き合った際に、全体的に樹勢が強く主枝に対して亜主枝の候補となるような太い枝が多いこと。更に、それぞれの部位で更新するための枝を作らなければならぬと感じたという。3年後はとにかく現状より減収させることなく、少しでも収量が上がるような枝を多

産地市場で初市

活発な取引で価格堅調

弘果弘前中央青果株式会社をはじめ津軽りんご市場、五所川原中央青果において5日、新春恒例のりんご初市が開催された。27年産は、10月に2度にわたる強風被害を受けたものの着色や食味、海外輸出が好調であり、弘果弘前中央青果では、同日取引された全品種とも前年を上回る価格となった。



活発な取引の様子

同青果の葛西静男専務は「食味が良いことが価格に反映されているため、生産者は改めて食味の良いいりんご作りを自覚していると思う。今後とも続けて欲しい。」とし、新年幸先の良いスタートを切れたと語った。

凛音「ラム

▼「母なる大地」という言葉があるが、大地、つまり土であるが、地球上の様々なものの生みの親であり、土は母であるというところであろう。土壌中には様々な動物のほかに、肉眼では見えない多数の微生物が生存している。

杯の土の中には億単位の微生物があり、それらは関連しながら共存している。微生物の研究者は微生物には不可能がないという。それほど微生物はいろいろなことができる万能選手、無限の可能性を有しているがまだまだ未知の世界のよう

▼「コーヒースプーン」

杯の土の中には億単位の微生物があり、それらは関連しながら共存している。微生物の研究者は微生物には不可能がないという。それほど微生物はいろいろなことができる万能選手、無限の可能性を有しているがまだまだ未知の世界のよう

微生物の力(1)

微生物の力(1) 数多い培養菌が出す結核菌に効く薬はストレプトマイシンと名付けられ、死の病、肺結核から多くの人が救われるようになった。

意外性にあり、その意外性がこれまでの多くの問題を解決してくれるのではとの期待感を持たせる。農業に

工藤 亞義

し、その分結果枝にはあまり投入をせず、養分の流れと花芽をよく観察しながら丁寧に剪定を行い、今年の反応を見るように意識したと話す。



丁寧に観察しながら剪定する成田さん

■平川市唐竹支会

相馬 浩次氏 (48歳)

相馬さんは与えられた樹を見て、樹勢が強い印象を受け、花芽が弱いように感じた。

▼収量落とさず品質向上

相馬さんは与えられた樹を見て、樹勢が強い印象を受け、花芽が弱いように感じた。

▼減収させないこと

成田さんは剪定する樹と向き合った際に、全体的に樹勢が強く主枝に対して亜主枝の候補となるような太い枝が多いこと。更に、それぞれの部位で更新するための枝を作らなければならぬと感じたという。3年後はとにかく現状より減収させることなく、少しでも収量が上がるような枝を多

くたもの情報

【産地市場動向】
弘果・弘前中央青果
1月1～9日の市況
(円/1箱20kg・前年比%)

王 林 2500 84.4

有袋ふじ

サンビ 3795 122.9
1月9日時点でのりんご全体の相場は前年比10.2%、単価は同比11.6%。依然として堅調な価格で推移していることから、選果をしっかりと行う。

王 林 2500 84.4

有袋ふじ

サンビ 3795 122.9
1月9日時点でのりんご全体の相場は前年比10.2%、単価は同比11.6%。依然として堅調な価格で推移していることから、選果をしっかりと行う。

王 林 2500 84.4

有袋ふじ

サンビ 3795 122.9
1月9日時点でのりんご全体の相場は前年比10.2%、単価は同比11.6%。依然として堅調な価格で推移していることから、選果をしっかりと行う。

王 林 2500 84.4

有袋ふじ

サンビ 3795 122.9
1月9日時点でのりんご全体の相場は前年比10.2%、単価は同比11.6%。依然として堅調な価格で推移していることから、選果をしっかりと行う。

王 林 2500 84.4

訂正

本紙1月1日付新年号の株式会社弘果物流様の広告

について代表取締役社長が



説明しながら鋸を入れる相馬さん